

日本版NCAA設立準備委員会
第4回 作業部会

スポンサー・賛助制度(案)

2018.10.15

スポンサー制度の基本的考え方

基本的 考え方

- ①スポンサーからの広告協賛金の獲得により、会員へのサービス提供と組織運営に係る費用拠出原資の確保を図り、経済的に自立する組織運営を目指す。
- ②より多額の協賛金の確保に向けて、幅広い領域の企業・団体からの支援の獲得を目指す。
- ③スポンサーに提供するプロパティは、既存組織・団体の権益を侵食せず、新しい組織として新しい価値創造を目指す。

制度の 骨子

- ①「オフィシャルパートナー」「オフィシャルスポンサー」の2階層とする。
※旧「賛助会員」は「オフィシャルスポンサー」に統合する。
※金銭的支援もあり得る「連携会員」は会員制度の中に位置づける。
- ②プロトタイプとして基本パッケージを策定するが、クライアントの需要に応じて金額やサービスの増減等柔軟な対応を行う。
- ③クライアント需要によってはフルカスタマイズパッケージの策定も可とする。
- ④クライアントとの商談の進行に応じた提供プロパティや金額の変更に関しては迅速な意思決定が必要な場合を想定して「事業マーケティング主査会」に権限を一任して推進、契約の締結に関しては機関決定を行う。

[今後の予定]・10/22第3回設立準備委員会にて決議
・11月中旬スポンサー企業説明会開催

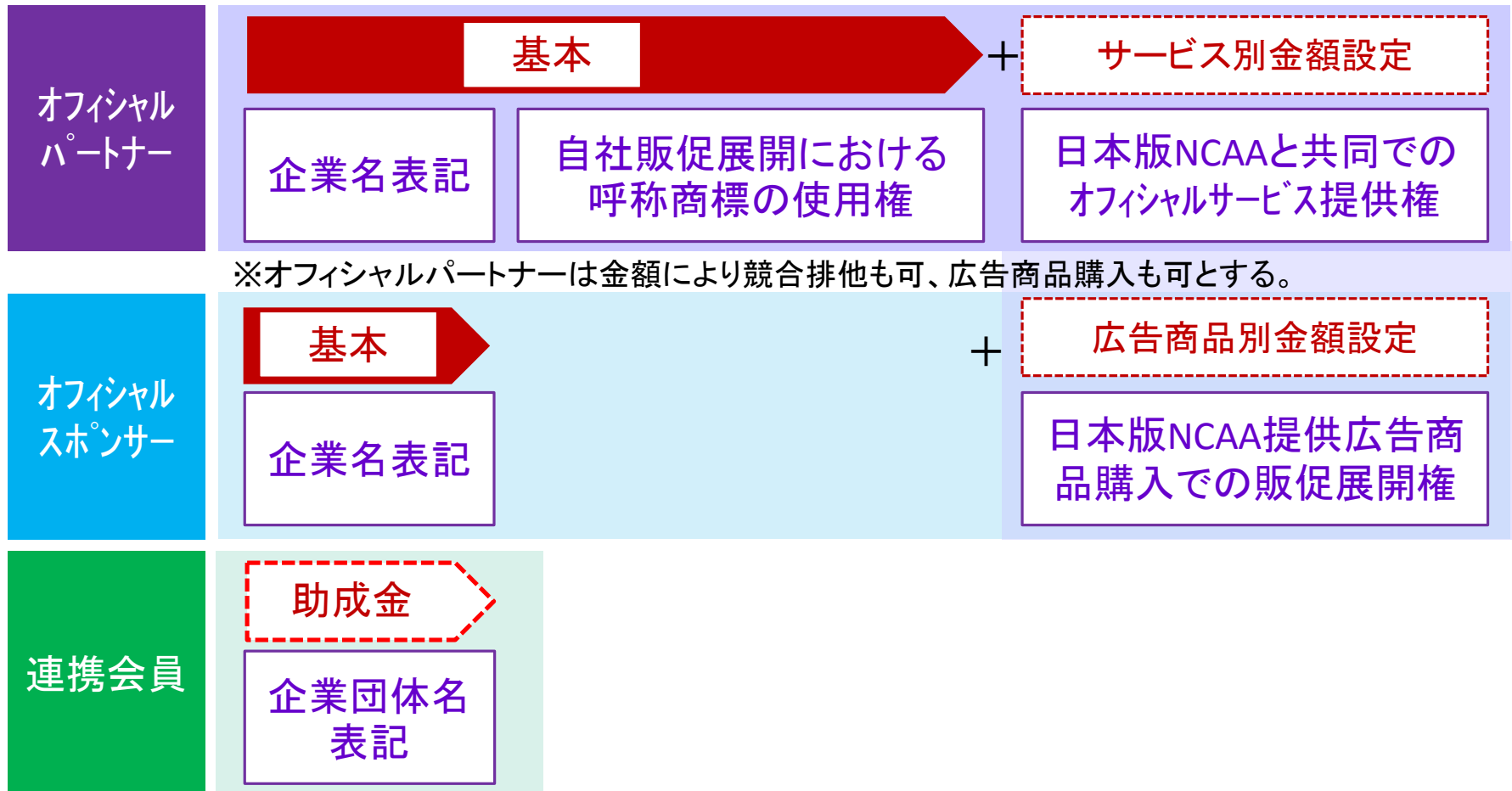
スポンサー基本パッケージ①

	オフィシャル パートナー	オフィシャル スポンサー	連携会員
定義	・日本版NCAAの会員や外部に向けたサービス提供を協業して実施し得る企業・法人	・日本版NCAAの <u>広告・サービスを購入して宣伝・販促活動を実施し得る企業・法人</u>	・日本版NCAAに協力又は支援する為に入会した法人。
資格	・1領域1社独占となる競合排除権を一定協賛金額以上で認める	・競合排除はしない	・競合排除はしない
金額	・協業サービスの領域と内容に応じて金額を設定。	・広告・サービス商品に応じて金額を設定。	・助成金を支給する団体もある
年数	・5年間	・5年間	・1年以上
主たる特典	①日本版NCAA自社メディアにおける企業・団体名の表記		①企業・団体名の表記
	②日本版NCAAが提供する広告・サービスの購入による販促の展開権利。		
	③日本版NCAAのロゴ・呼称を使用しての自社販促展開の権利。		

スポンサー基本パッケージ②

	オフィシャル パートナー	オフィシャル スポンサー	連携会員
サービスと 広告の事例	<ul style="list-style-type: none"> ◇1社独占サービス ・NCAA統一スポーツ損害保険 ・NCAA統一クレジットカード ◇複数社共生サービス ・NCAA公認 学習サポートシステム ・NCAA公認 クラブ遠征サポートデスク ・NCAA公認 ホテル ・NCAA公認住まい選びの窓口 ◇NCAA主体運営型サービス ・NCAA公式チケット販売システム ・NCAA公式大学グッズ販売サイト <p>※全てが取引パートナーである</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇命名権(組織体制) ・カンファレンス名 ・リーグ名 ・主催試合名 ◇命名権(制度サービス) ・優秀体育学生アワード ・奨学金制度 ・海外留学支援制度 ・海外交流プログラム ・部運営車提供プログラム ◇広告 ・NCAAホームページ ・NCAAパンフレット類 ・NCAA配信動画内広告 ◇データ活用 ・会員への情報提供 ・会員へのリサーチ、テストマーケティング <p>※取引パートナーの際は最低オフィシャルスポンサー1百万円になっていただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇スポーツ関連団体 ◇大学関連団体 ◇その他

スポンサー体系



- ・オフィシャルパートナーはオフィシャルスポンサーの権利を有する。
- ・連携会員がオフィシャルパートナー、オフィシャルスポンサーを兼ねる場合は、別途費用を徴収する。